

2015年中央ろうきん助成プログラム —はたらく人が暮らす地域の課題解決に向けて—

パートナーミーティング(贈呈式)を開催！
～ “つながり” を大切にする助成制度をめざして～

中央労働金庫(理事長:吉田正和/東京都千代田区 以下<中央ろうきん>)では、中央ろうきん社会貢献基金を通じたCSR活動の一環として、2002年より『中央ろうきん助成プログラム』※を実施しております。

このたび、2015年の助成団体決定(58団体、総額1,767万円)を受け、5月22日(金)、<中央ろうきん>本店ビルにて、記念品贈呈と交流を兼ねた「パートナーミーティング」(贈呈式)を開催しました。

パートナーミーティングとは、助成団体と<中央ろうきん>のパートナーシップ構築のみならず、参加者それぞれの分野や地域を越えた新たなネットワークを築いていただくことを目的に、毎年開催するものです。当日は、助成団体の代表者ほか、選考にご協力いただいた選考委員、中間支援センターの方々、中央ろうきん役職員など約110名が一堂に会し、交流と親睦を深めました。

冒頭、基金の吉田正和会長(中央労働金庫理事長兼務)の開会挨拶に続き、選考委員長 赤塚光子氏(特定非営利活動法人 全国障害者生活支援研究会会長/元立教大学教授)より選後評をいただきました。また、助成対象エリアである茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨の8地域ごとに、<中央ろうきん>各都県本部の職員より、記念品の贈呈を行いました。

後半の交流会では、地域別・分野別のグループ分けを仕掛けとして、参加者同士のマッチングの場づくりを企画。参加者からは、「他団体の活動を知り、今後の活動のアイデアが浮かんだ」「一緒に活動したいと思う団体と出会えた」などの声が寄せられ、活発な情報交換と交流の機会となりました。

年ごとに実施されるこのプログラムでの出会いは、一期一会。当金庫では、今後も市民活動団体とのパートナーシップを築き、勤労者を取り巻く福祉課題の解決に取り組んでまいります。

【2015年パートナーミーティング】



助成団体スピーチ(茨城地区)



集合写真(東京地区・継続団体)



交流会の様子

※『中央ろうきん助成プログラム』は、「ひとづくり」「まちづくり」「くらしづくり」に携わるボランティアグループやNPOなどの市民団体の活動を支援することを目的に、2002年に創設した社会貢献制度で、特定非営利活動法人市民社会創造ファンド(運営委員長:山岡義典氏/東京都中央区)と中央ろうきん社会貢献基金が運営しています。今年は応募総数245団体の中から、選考委員会での厳選の結果、58団体・総額1,767万円の助成が決定しました。

■ 報道関係者の皆様からの本件に関する取材・お問い合わせ先

中央労働金庫 総合企画部<CSR企画> (担当:笹沼、高瀬) TEL:03-3293-2048